



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 横浜冷凍株式会社
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 鈴木 大介
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	83,397	△8.4	1,261	△66.5	1,430	△62.9	504	△68.4
23年9月期第3四半期	91,017	0.3	3,759	19.4	3,857	13.7	1,598	△4.8

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 553百万円 (△67.4%) 23年9月期第3四半期 1,700百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	9.75	—
23年9月期第3四半期	30.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	91,908	56,078	60.6
23年9月期	93,065	56,562	60.4

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 55,701百万円 23年9月期 56,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年9月期	—	10.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,340	△8.6	3,000	△28.5	2,880	△33.0	1,560	△6.5	30.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期3Q	52,450,969 株	23年9月期	52,450,969 株
24年9月期3Q	702,621 株	23年9月期	702,073 株
24年9月期3Q	51,748,660 株	23年9月期3Q	51,749,613 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ緩やかな持ち直しの傾向が見られるものの、円高や電力供給不安等の影響により、景気回復の足取りは依然として不透明な状況にあります。

また、世界経済を見渡しましても欧州債務危機による金融市場の不安や中国経済の成長鈍化により、輸出は横ばい圏内にとどまり、全体的な減速感が広がっています。

このような状況のもと当社グループは平成23年11月に発表した第四次中期経営計画「Step Toward The Future」（3ヶ年）の事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の向上に努めてまいりました。

冷蔵倉庫事業は概ね計画どおりに推移しましたが、食品販売事業は第3四半期連結会計期間においても引き続き主力商品の相場が下落する厳しい環境の中、売上高及び利益が大幅に減少しました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高83,397百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益1,261百万円（前年同期比66.5%減）、経常利益1,430百万円（前年同期比62.9%減）、四半期純利益504百万円（前年同期比68.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（冷蔵倉庫事業）

前期にスクラップ&ビルドにより新設いたしました北港物流センターが、順調に稼働している関西ブロックに加え、復興需要等による北海道・東北ブロックの荷動きも回復するなか、引き続き顧客ニーズを的確にとらえた収益重視の集荷活動に取り組んでまいりました。

貨物取扱量の状況は、畜産品や冷凍食品を中心に取り扱いが増加し、前年同期と比べて入庫取扱量は約79千トン、出庫取扱量は約47千トン、平均保管在庫量も6.4%の増加となりました。

その結果、売上高は主に保管料収入及び荷役料収入が伸びたことで増収となり、営業利益も新設物流センターの減価償却負担増をカバーし、増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は15,160百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は3,436百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

（食品販売事業）

当第3四半期連結累計期間は輸入鮭鱒類、チキン等の主力商品の需給バランスの悪化、ウナギ、秋サケ等の著しい不漁による取扱量の減少、及び原発の放射能問題による輸出の停滞など、厳しい事業環境で推移しました。

畜産品は上半期に損失を計上したチキンが回復基調にあるものの、水産品は輸入鮭鱒類の過剰在庫が解消されず、第3四半期連結会計期間中に相場下落が更に顕著となり売却損の発生、また輸入鮭鱒類の相場急落によりサバ等の主力商品相場も影響を受け利益を圧迫しました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高及び利益が前年同期を大幅に下回り、売上高は68,228百万円（前年同期比11.3%減）、営業損益は主に輸入鮭鱒類等の早期売却損及びたな卸資産評価損の計上により667百万円の営業損失（前年同期は1,797百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,157百万円減少し、91,908百万円となりました。これは主に商品が3,619百万円増加したことや、現預金が1,710百万円、売上債権が2,376百万円、繰延税金資産が367百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ673百万円減少し、35,830百万円となりました。これは主に借入金が増加したことや、仕入債務が1,481百万円、賞与引当金が384百万円、未払法人税等が615百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ483百万円減少し、56,078百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ1,710百万円減少の2,853百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、677百万円の資金の増加（前年同四半期は55百万円の資金の増加）となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益1,517百万円、減価償却費2,623百万円及び売上債権の減少額2,377百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額3,615百万円、仕入債務の減少額1,481百万円及び法人税等の支払額1,382百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,762百万円の資金の減少（前年同四半期は2,876百万円の資金の減少）となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出3,383百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,373百万円の資金の増加（前年同四半期は3,097百万円の資金の増加）となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額2,583百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,034百万円による資金の減少によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成24年5月9日付）で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,563	2,853
受取手形及び売掛金	15,902	13,525
商品	13,985	17,604
繰延税金資産	728	369
その他	568	404
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	35,716	34,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,778	24,654
機械装置及び運搬具（純額）	4,727	4,730
土地	18,401	18,406
リース資産（純額）	174	208
建設仮勘定	1,280	1,376
その他（純額）	344	368
有形固定資産合計	49,706	49,745
無形固定資産		
のれん	1,001	886
その他	1,419	1,418
無形固定資産合計	2,420	2,305
投資その他の資産		
投資有価証券	3,775	3,625
長期貸付金	500	118
繰延税金資産	10	0
その他	1,007	1,441
貸倒引当金	△72	△58
投資その他の資産合計	5,222	5,127
固定資産合計	57,349	57,177
資産合計	93,065	91,908

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,765	5,284
短期借入金	7,335	10,601
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,257
1年内償還予定の社債	140	112
リース債務	52	65
未払法人税等	722	107
賞与引当金	614	229
役員賞与引当金	30	22
その他	4,949	4,314
流動負債合計	22,710	22,994
固定負債		
社債	90	—
長期借入金	12,465	11,630
リース債務	130	154
繰延税金負債	95	9
退職給付引当金	536	577
役員退職慰労引当金	302	288
資産除去債務	105	105
その他	68	70
固定負債合計	13,793	12,835
負債合計	36,503	35,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,897	34,367
自己株式	△520	△520
株主資本合計	56,553	56,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	△132
繰延ヘッジ損益	△224	△30
為替換算調整勘定	△168	△158
その他の包括利益累計額合計	△358	△321
少数株主持分	367	377
純資産合計	56,562	56,078
負債純資産合計	93,065	91,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	91,017	83,397
売上原価	82,250	76,776
売上総利益	8,767	6,620
販売費及び一般管理費	5,007	5,359
営業利益	3,759	1,261
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	75	83
助成金収入	32	182
保険配当金	29	28
その他	121	154
営業外収益合計	277	468
営業外費用		
支払利息	153	216
その他	25	83
営業外費用合計	179	299
経常利益	3,857	1,430
特別利益		
貸倒引当金戻入額	25	—
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	1	3
過年度固定資産税還付金	79	84
特別利益合計	108	87
特別損失		
固定資産除売却損	32	—
ゴルフ会員権評価損	8	—
ゴルフ会員権売却損	2	—
災害による損失	552	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	132	—
事業所閉鎖損失	279	—
特別損失合計	1,008	—
税金等調整前四半期純利益	2,957	1,517
法人税、住民税及び事業税	1,301	789
法人税等調整額	29	220
法人税等合計	1,331	1,009
少数株主損益調整前四半期純利益	1,625	507
少数株主利益	26	3
四半期純利益	1,598	504

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,625	507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	△168
繰延ヘッジ損益	△15	200
為替換算調整勘定	11	14
その他の包括利益合計	74	46
四半期包括利益	1,700	553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,674	541
少数株主に係る四半期包括利益	25	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,957	1,517
減価償却費	2,181	2,623
のれん償却額	112	136
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△392	△384
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	77	40
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	31	△14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60	△17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	132	—
災害損失	552	—
事業所閉鎖損失	279	—
受取利息及び受取配当金	△93	△102
支払利息及び社債利息	153	216
固定資産除売却損益 (△は益)	30	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△1	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	327	2,377
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,021	△3,615
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,474	△1,481
未払費用の増減額 (△は減少)	330	570
その他	75	319
小計	2,189	2,175
利息及び配当金の受取額	96	102
利息の支払額	△162	△218
法人税等の支払額	△2,067	△1,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	55	677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,233	△3,383
有形固定資産の売却による収入	5	2
投資有価証券の取得による支出	△554	△103
投資有価証券の売却による収入	1	9
子会社株式の取得による支出	—	△23
貸付けによる支出	△135	△307
貸付金の回収による収入	22	192
その他	18	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,876	△3,762
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,515	3,260
長期借入れによる収入	—	1,100
長期借入金の返済による支出	△1,089	△1,777
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,034	△1,034
少数株主への配当金の支払額	△2	△2
社債の償還による支出	△227	△117
その他	△62	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,097	1,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	279	△1,710
現金及び現金同等物の期首残高	3,877	4,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,157	2,853

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,057	76,946	14	91,017	—	91,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,135	—	37	1,172	△1,172	—
計	15,192	76,946	52	92,190	△1,172	91,017
セグメント利益	3,168	1,797	10	4,976	△1,216	3,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,216百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,160	68,228	8	83,397	—	83,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,280	—	36	1,316	△1,316	—
計	16,440	68,228	45	84,714	△1,316	83,397
セグメント利益又は損失(△)	3,436	△667	11	2,780	△1,519	1,261

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,519百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。